

# 低炭素杯2014ファイナリストへのアンケート

## アンケートの概要

### ◆調査目的

低炭素杯2014の目的である「全国各地で展開されている次世代に向けた低炭素な社会づくりのための多種多様な活動を報告し、学びあい、連携の輪を広げる「場」を提供すること」に対するファイナリストの評価を把握し、今後の企画・運営の参考とします。

### ◆調査方法

アンケート調査票を当日に各ファイナリスト代表者に配布し、イベント終了時に受付に提出されたものと、後日FAXでの回答がありました。

【調査対象】低炭素杯2014ファイナリスト(40/41団体 ※1団体は当日不出場の為)

【回収数】35団体(回収率：88%)

【調査対象】2014年2月14日(金)、15日(土)

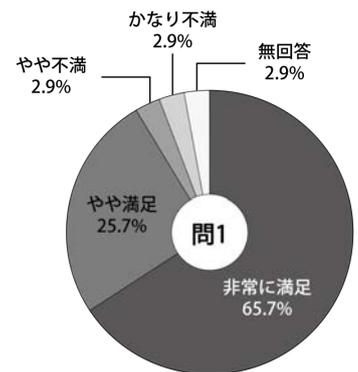
## アンケートの結果

問1. 低炭素杯2014の内容は、貴団体にとってどれくらい満足できるものでしたか。

選択肢	1.非常に満足	2.やや満足	3.やや不満	4.かなり不満	無回答
回答数	23	9	1	1	1

### 主な自由記述(一部抜粋)

- \* 事前の準備から、当日の打合せ、運営も素晴らしく、本当にありがたかったです。私たちの団体としまして、練習した事を発表に活かすことができ、我々の活動を周知することも出来たので大変良かったです。
- \* 1620の応募から選ばれたことを誇りに思っています。
- \* 交流会が中止になったことは残念でした。
- \* 自校の発展のために役立ちました。他の団体の発表からヒントをいただきました。
- \* 低炭素杯、素晴らしい大会だと改めて感じました。
- \* 大変レベルが高く、刺激を受けました。
- \* 悪天候の中、段取り調整も十分で満足できた。
- \* 遠方から参加する場合、開催日程2日間は厳しいため、可能であれば1日での開催を希望します。
- \* 自分たちで低炭素社会の実現に向けて何ができるかを考え実践した活動を、全国大会という大きな舞台で発信することが出来、児童にとって貴重でこれ以上ない素晴らしい経験をさせていただいた。また、プレゼンテーションを全校でバックアップすることで、学年を超えて学校の連携が深まった。特に発表した児童には自信が見られるようになっており、今後の長い人生に良い影響を及ぼすことであろう。



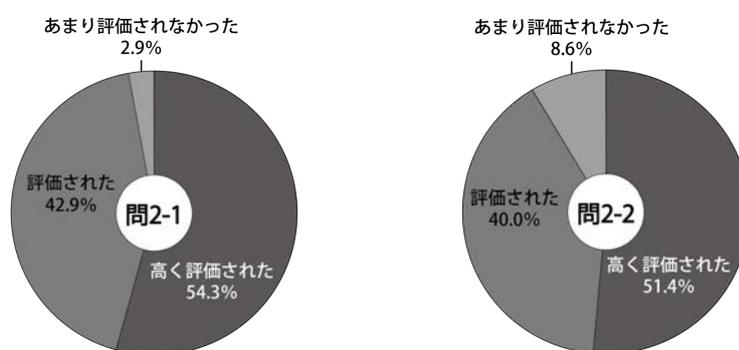
**問2. 貴団体が、低炭素杯2014ファイナリストとして選出されたことは、周りからどのように評価されたと思いますか。**

**問2-1 貴団体・企業の内部の評価**

選択肢	1. 高く評価された	2. 評価された	3. あまり評価されなかった
回答数	19	15	1

**問2-2 貴団体・企業の周辺の評価**

選択肢	1. 高く評価された	2. 評価された	3. あまり評価されなかった
回答数	18	14	3

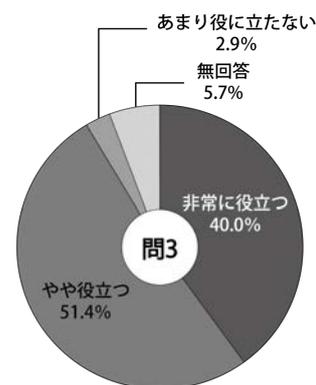


**問3. 貴団体が今後『現在の活動をひろげていく』ために低炭素杯2014はどのくらい役立つと思いますか。**

選択肢	1. 非常に役立つ	2. やや役立つ	3. あまり役に立たない	4. まったく役に立たない	無回答
回答数	14	18	1	0	2

**主な自由記述(一部抜粋)**

- \* 低炭素杯の内容を参考にして、さらに同じではなく上回るもの、新規性を出そうと努力するため、非常に役に立ちます。
- \* 全国規模での活動配信の場として非常に役立つと思います。
- \* 継続への力となります。次へのバトンタッチも含めて、しなければならないという思いを皆で持つことが出来ます。
- \* 低炭素杯に出場させていただいたことで新聞等マスコミに取り上げられる機会が増加し、これまで活動を知らなかった人たちにも広く活動を知ってもらうことができた。
- \* 「低炭素杯」という名前が、余り知られていない気がします。そのため、地域の中での評価が予想より低い感じがしています。
- \* クラブを維持継続してゆくためには相当額の経費が必要で、特に我々の活動は道具および機械機器類が必要となり、そのメンテだけでもある程度の経費が必要となってくる。民間および国土緑化推進機構、林野庁の各助成金がなければクラブ存続は難しい(もちろん申請手続きは必要だが)。過去にも林野庁の搬出間伐に対する大賞取得他表彰実績はあるものの助成金申請時においてファイナリスト進出は少なからず影響はある。
- \* 全国大会(低炭素杯)のファイナリストになったということだけでも評価されるし、賞をいただければ、自治体(町役場、行政)を動かす大きなきっかけになる。活動拡大もしやすくなる。

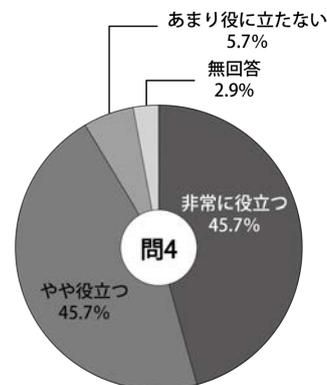


**問4. 貴団体が今後『現在の活動に加え、新たな活動を始め』るために、低炭素杯2014はどのような点で役に立つと思いますか。**

選択肢	1.非常に役立つ	2.やや役立つ	3.あまり役に立たない	4.まったく役に立たない	無回答
回答数	16	16	2	0	1

**主な自由記述(一部抜粋)**

- \* この低炭素杯の目的の一つに「多様な団体が学び合う物」とありました。まさしくその通りで、持続可能な低炭素社会の構築のためには、一つの方法だけでなく、色々な視点、取組方法があるのだと、出演された他の団体の皆さんの発表を見て感じる事が出来、学ぶ機会にもなりました。
- \* 今回はおこなわれなかったが、プレゼン後の懇親会でのPR等も行えれば、非常に役立つと思われる。
- \* 取組分野、視点、集団(チーム)として一体に活動するほう方法などで参考になる。小学生、高校生の情熱は学生を指導するために心を打たれます。
- \* ノーマライゼーションやゼロウェイスト等カーボンオフセットと複合的に考えることが大切だと気付かされ、今後活かしたいです。
- \* 低炭素杯出場により活動が広く周知されたことで、環境保全活動のトップランナーとして地域や行政に期待されるようになり、新たな活動を起すうえでも協力が得やすくなった。
- \* クリーンアップを行い、集めたゴミから新たな資源を生み出し、それを経済効果として地元の方々に還元共有し、新たな低炭素活動に活用し、それを広げるような事業展開を目指すすれば、今回のプレゼンにエントリーしてもらい、発表できたことは大いに役立つと思います。

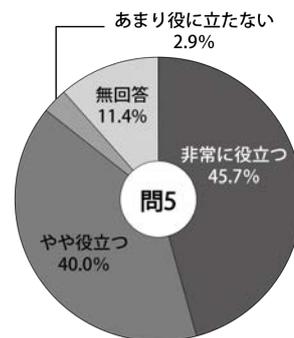


**問5. 貴団体が、地域で活動を行うために、特別シンポジウムはどのような点が役立ちましたか。**

選択肢	1.非常に役立つ	2.やや役立つ	3.あまり役に立たない	4.まったく役に立たない	無回答
回答数	16	14	1	0	4

**主な自由記述(一部抜粋)**

- \* 多くの方と連携し、みんなで環境を守る取組を行ってことに役立つと思いました。
- \* 懐かしい未来を再現しつつ、今の技術を取り入れる点が役に立ちます。
- \* 地域の方々や学生をどのように巻き込むかが参考になった。
- \* 里山資本主義こそ、日本再生につながると確信できた。
- \* 先進事例を学ぶことで、地域の活動を活性化するヒントが得られる可能性があると思います。
- \* 世代の枠を超えて、熱心に低炭素社会の実現に向けた活動に取り組む団体のお話を聞く機会は貴重であるとともに刺激になった。「日本一」が一堂に会するシンポジウムは低炭素杯ならではの。
- \* 里山を通じたコミュニケーションは、コミュニケーションの重要性を気付かせる。里山での生活が今からの人類の生活であると思う。

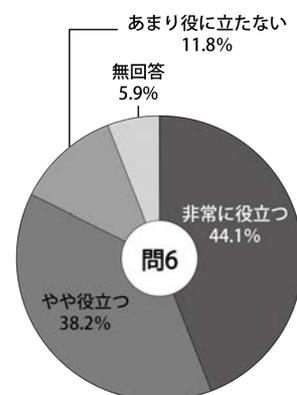


**問6. 貴団体が今後『他の団体・企業と協力して活動を行う』ために、  
低炭素杯2014はどのような点が役に立つと思いますか。**

選択肢	1.非常に役立つ	2.やや役立つ	3.あまり役に立たない	4.まったく役に立たない	無回答
回答数	15	13	4	0	2

**主な自由記述(一部抜粋)**

- \* 直接的な協力は、簡単ではないが、発表後に色々な方々に声をかけて頂き、今後連絡をとり情報交換の約束をした方も出来たので、協力者が増えたという意味から役に立ちました。
- \* 入賞すれば、実績となるので、対等な立場で進みやすく、また、協力してもらいやすいと思う。
- \* 団体間交流会がなかった為、しっかりとした情報交換ができなかった。
- \* ファイナリストを1つの目標とすることで、より効果的な協働・連携が期待できると思います。
- \* 今回は悪天候のため中止となったが、低炭素杯にはプレゼンテーションやシンポジウムの他にも団体間交流会の機会もあることから、意見交換や連携の輪を拡大する機会になる。
- \* 今回、多くの団体と交流することが出来た。特に参加団体1社より共同研究の依頼があった。また同じ農業高校間でのつながりも出来た。



**問7. 低炭素杯2014について、ご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。**

**主な自由記述(一部抜粋)**

- \* 大変有意義な大会です。ぜひ、続けて頂きたい！
- \* 今回、書類選考で本大会に参加したが、このようなスタイルは良いと思う。(活動と発信(発表)のバランス的に。発信(発表やその準備)に時間がかかりすぎるのは負担になる。)1回で全国に来れたのが良かったです。今後もぜひ続けていただきたい。事務局の皆様本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- \* 出場団体決定の連絡と発表の時期が、もう少し早いと自分たちの地域での広報活動が充実したと考える。全体を通して見ると「低炭素」という言葉でコーディネートされ、運営面でも素晴らしい内容であった。次年度の内容の充実を期待しています。
- \* 40もの発表を見続けることは限界がある。AM20団体(企業)、PM20団体(学生)のように分けてみたらどうでしょうか?もしくは前泊組(AM)、当日組(PM)でも。
- \* 参加してみて、想像していたよりもアットホームな大会で、非常に印象が良かった。その分、純粋に低炭素社会づくりへの貢献度や広がり可能性よりも“情”的な判定があったように思われる。できれば個別の講評や採点結果の公表があると、今後の活動に対してより良い効果があると思う。
- \* 学級の代表だけを参加させるのは忍びなかったです。特に平日ということで、学校で授業を受ける児童(担任不在の中で)と状況する児童(担任引率)に分かれてしまいました。
- \* 弊社の取組はまだ始まったばかりで、これを継続させていくことが本当の低炭素社会づくりだと他の取組を見て強く感じた。ファイナリストとして、全国大会へ出場できたことは、本当に勉強になり、参考になりました。

## 一般審査員からのコメント(一部抜粋)

- \* どれも素晴らしい取組をしていて、甲乙付け難い。子供たちが良く頑張っている。こんな所に住みたいと思う地域がたくさんあった。
- \* 市民活動と企業と行政の各取組を分けて評価したほうが良い。国民的取組にするには別の切り口がある。地域の歴史・文化などから低炭素を取組の視点を。
- \* 発表者も主催側も手際が良く大変良かった。発表者数が多いので時間が少ないのは止むを得ないと思うが、かえって効率が良くていいのではないかと。ご苦労様です。
- \* 素晴らしいプレゼンが多く、選ぶのも大変だった。団体も多様で、その分発表を聞くのも楽しかった。
- \* たいへん素晴らしいプレゼンでした。地域のジレンマにうまく光が当たるとよいと思います。
- \* 小学校と地域の結びつきは、とても大きな効果を発揮出来ると思う。又、今回は高校の専門分野でのより環境を考えた研究や、企画、活動の取組がさすがに感じ、応援していきたい。素晴らしい活動で甲乙付け難いところだが、ホームページ上で活動を紹介している団体もあり、今後の低炭素社会を目指した広報活動としては必須のような気がする。
- \* すべてのプレゼンが楽しく勉強になりました。これまでの低炭素化に対する自分の考え方を大きく変えてく必要があると感じました。つまり、低炭素とは町興しであり、仕事づくりであり、生きがいづくりであると感じました。来年も一般審査員をやらせてください。
- \* 色々な地域色々な取組を聞くことができ、学生団体である私たちにとってとてもよい勉強となりました。みなさん内容がすごいだけでなく、楽しめる工夫されたプレゼンばかりで最後まで飽きずに見入っていました。今後、活動で、環境教育を行うため、そのような活動をしている他団体のお話を聞くことができよかったです。普段あまり他団体の方とお会いする機会がないので、このような場に来て自分自身のやる気もUPしました。
- \* 様々なプレゼンの仕方を見ることができ、とても勉強になりました。また、同じ「CO2削減」ということに対して、それぞれの団体が違った取組をしていることにおもしろみを感じました。持続可能で、よりよいやり方を目指して頑張してほしいです。有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

